



勝高だより

立校部 A
行 県 等 学
田 高 修
秋 勝 研 P



誕生四十年目の雄勝高校 校長 佐藤 緑

雄勝高校は、今年創立四十年目という節目の時を迎えています。来年の今頃は記念式典を間近に控え、その様々な準備で、さぞかし慌ただしい日々を過ごしていることでしょう。

現代では八十年あまりといわれる人の一生で考えますと、四十歳は忙しくも充実した日々を過ごしている時期です。仕事では中堅となり、重責を課される立場になる頃でしょうし、プライベートでも様々な場面で活躍を求められるでしょう。また、勢いで突っ走った若者時代を経て自分の来し方を振り返り、成熟した大人として社会に貢献できているかと内省する時期でもあります。



一学期をふりかえって 生徒会長 山口 拓

四月に一年生が入学し、今年度新たな学校生活が動き始めました。今年は、「将来像の確立及びそれに向けた目標の設定、コミュニケーション能力の向上を目指す」というスローガンを掲げました。

六月に行われた運動会は、一年生にとっては初めての全校を挙げての行事となりました。しかし初めてとは思えないほど、各クラスとも団結力がありました。二、三年生はより一層クラスがまとまって競技に参加していました。またクラスを応援する声もよく出ていて、活気のあるよい運動会になったと思います。

七月に行われた球技大会でも、どのクラスも全力で競技に臨む姿勢が見られました。三日間を通して生徒一人ひとりが自分の特技を生かし、友人たちと力を合わせて輝くことができました。とても素晴らしい球技大会になりました。

その他の様々な学校行事でも、全校生徒が協力的に、全力で取り組む姿を見せてくれて、とてもうれしく思いました。また校外で行われているボランティア活動にも多くの生徒が積極的に参加し、地域の皆様に喜んでいただいております。

り、その中にあつて柔軟に、かつ逞しく生き抜いていく力が求められます。社会が本校に対して求める力も同じであります。

た風光明媚な雄勝の地勢、艶やかに咲く芍薬の花、そして英知を象徴するペン先の三つが、バランス良く配置されています。まさに地域に育てられ、地域に貢献するために雄飛しようとする人材の育成を目指す学校の姿勢が表現されています。校訓である「自啓自強」と共に、大切にしたい本校の魂です。

東北大会に出場して

東北大会に出場して 三年A組 平田 航輝

私は、六月十六日に山形県天童市NDソフトスタジアムで行われた、第七十二回東北高等学校陸上競技大会に出場してきました。

会場では、県南大会や全県大会とは異なる緊張感があり、いつも通りの走りができるかが不安でした。

私が出場した種目は四百メートル走でしたが、始まる前のウォーミングアップの段階で緊張してしまい、そこでは自分の思った走りができませんでした。競技が始まりずっと緊張していたのですが、グラウンドに立った瞬間自然と緊張がほぐれて、走りに集中することができるようになりました。

四百メートルの結果は、予選を通ることができませんでした。しかし、全力を出し切ったので、悔い

東北大会に出場して

東北大会に出場して 三年B組 稲葉 沙耶

私は陸上部に所属してからの目標というものは、東北大会に出場することでした。そのため東北大会に出場することができたのは、自分だけの力ではなく、陸上部で指導してくださった山中先生や、私をいつも応援してくださった皆さんのおかげです。本当に感謝しています。

これまで応援してくださって本当にありがとうございます。

「努力は報われる」 陸上部顧問 山中 浩

四年前、陸上部の顧問を引き受けた際、夢にも思っていなかった「東北大会出場」であったが、今年も選手への頑張りや二年振りに参加させて頂くことができた。

球技大会をふりかえって

球技大会をふりかえって 三年A組 小川 竜太

球技大会をふりかえって思うことは、三年A組の全員で協力し、とても楽しい球技大会にすることができたということです。特に男子のバスケットボールは、毎日の昼休みや放課後にメンバーが集まって、互いに声を掛けあい、チームプレーの技を磨いて、高めてきました。

一試合目では一年生のクラスと戦いました。最初の試合で緊張してしまつたこともあり一人ひとりのプレーが雑になってしまいました。チームプレーも乱れましたが、後半ではしっかりと声を出し勝つことができました。

二試合目は二年生のクラスと戦いました。この試合では、前の試合にできていなかったメンバー同士の声かけに注意してプレーすることができ、勝つことができました。

この調子で準決勝も勝ち進み、決勝を迎えました。決勝は二年生のクラスでしたが前半では同点の場面が続き、かなり焦りがあり

前に予想できた人は何人いたのだろうか？恐らく一人もいなかったはずだ。私自身全く予想しなかった。

しかし、彼は努力に努力を重ねた。経験も実績も無い自分には努力するしかないことをわかってきた。休日の練習ではトイレで吐くまで自分を追い込んだ。二百メートル十本のインターバルをすべて二十八秒以内で走ることができた。

私は「努力は報われる」とも思っている。「努力しても報われない」と言っている人間は「努力が足りないのだ」と思っている。

平成二十九年六月十九日(金)NDソフトスタジアム山形の電光掲示板に「七レイン・平田航輝・雄勝」の文字を目にした瞬間、鳥肌が立った。

「三年A組平田航輝君の努力が報われた瞬間であった。」

球技大会をふりかえって

球技大会をふりかえって 三年B組 稲葉 沙耶

私は三種目の競技に参加しました。一年や二年の時思った以上の結果が出せずに悔しい気持ちでいっぱいでした。しかし三年になり最上級生として三年生の皆がとてもよく活躍し、素晴らしい結果が出せたと思います。

チームの力が試されるバレーボールやバスケットボールでは、上手い人や経験者などが先頭に立ち指示をする場面が見られて、とてもいいなと思いました。

今年私は体育委員長として球技大会を見て、全校生徒が汗を流しながら一生懸命戦っている姿や、負けてしまった時の悔しさをしている生徒たちの様子を見

て、クラスのために頑張っているなと感動しました。

総合順位

一位	3A
二位	1B
三位	3B

